

経営評価

平成28年度事業



(目次)

- 上下水道局NEWS 1
- 経営戦略と経営評価..... 2
- 経営指標評価..... 3~4
- 取組項目評価..... 5~10

平成28年度事業の
評価結果はどうなっ
ているのかな？



上下水道局マスコット
キャラクター
すみと
ホテルの澄都くん

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

検針区 お客さま 番号 999	使用者コード 99999	水栓番号 99999	戸数 1	呼び径 20mm	メーター番号 100160
下水区分 区域内	汚水区分 水道のみ	用途 一般	支払方法 口座振替		
京都 一郎 様					

表示の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

29年度3期ご使用分(6月2日~8月1日)	650m ³
今回指示数	620m ³
前回指示数	m ³ (月日)
取替前メーター使用量	m ³
井戸汚水等排出量	m ³
今回ご使用水量	34m ³
前年同期使用水量	30m ³
前期使用水量	33m ³

このお知らせは、集金により集金することはありません。

ご請求予定額	6,738円
(内訳) 水道料金	4,006円
下水道使用料	2,732円
下水道料金からの割引額	-44円
下水道使用料からの割引額	-44円
割引後のご請求額	6,650円

「割引後のご請求額」は、右記の請求日にお引き落としさせていただきます。ご利用いただいた場合に適用いたします。

次回検針予定日 10月3日 (天候等により変更する場合があります)

「口座振替割引」をご存知ですか？ 便利でお得な「口座振替」をぜひご利用ください。

通信欄

水道料金等口座振替済のお知らせ(前回検針分)	振替日	5月17日
29年度2期ご使用分(4月2日~6月1日)	水道使用水量	33m ³
	水道料金	4,580円
	汚水排出量	33m ³
	下水道使用料	3,098円
	下水道料金	-44円
	下水道使用料(口座割引額適用後)	3,054円
	下水道料金(口座割引額適用後)	4,536円
	下水道使用料(口座割引額適用後)	3,054円
	振替金額	7,590円

検針のお問い合わせ先(業務委託先) TEL 123-4567 FAX 890-1234

検針月日 29年6月1日 検針員 水道 太郎

京都市上下水道局

※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意ください※

(裏面に〇〇〇〇〇からのお知らせがありますので、ご覧ください。)

料金は何に使われて
いるのかしら？



上下水道局マスコット
キャラクター
ホテルのひかりちゃん

上下水道局NEWS



山間地域の上下水道事業を水道事業・公共下水道事業に統合しました！

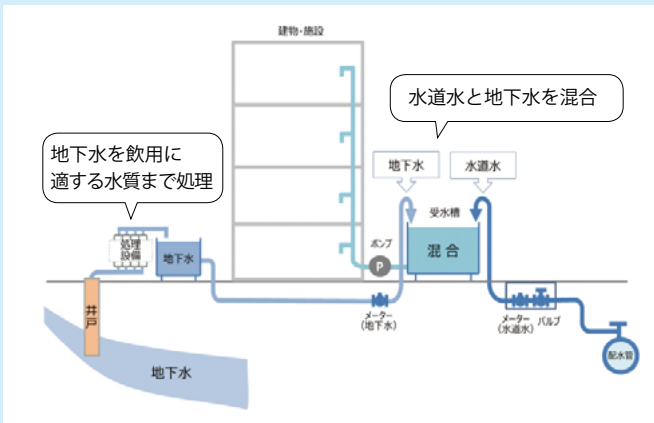
山間地域における上下水道（地域水道・特定環境保全公共下水道）を将来にわたって安定的に運営するため、平成29年4月1日から、水道事業・公共下水道事業に統合しました。

これにより、地域ごとに異なる料金制度を統一するとともに、お客さまサービスの充実と維持管理体制の強化を図り、安全・安心で信頼される上下水道サービスを提供していきます。

統合に係る広報用ポスター



水道施設の維持管理に必要な経費を公平に負担するための「水道施設維持負担金制度」を創設しました！



地下水等利用専用水道の設置例

近年、京都市内のホテルや病院、商業施設等において、コスト削減を主な理由として、水道水と地下水等を混合して利用する「地下水等利用専用水道」の設置が進む中、水道施設の維持管理の公平性についての課題が生じています。

こうした現状を踏まえ、将来にわたって安全・安心な水道水を市民の皆さまに提供している水道施設を維持していくことができるよう、地下水等利用専用水道を設置しているお客さまと一般のお客さまとの間の負担の公平性を確保することを目的とした「水道施設維持負担金制度」を創設しました。



平成29年7月に上下水道局太秦庁舎が開庁しました！

山ノ内浄水場跡地の北西部用地において整備を進めてきた「太秦庁舎」が完成し、平成29年7月18日から業務を開始しました。

この太秦庁舎は、市内北部エリアにおける上下水道サービスと防災の新たな拠点となるほか、庁舎1階に店舗スペースやオープンスペースを設けるなど、地域のにぎわい創出にも貢献していきます。

上下水道局太秦庁舎



京の水道水
世界最高水準

うるおいのしずく、あなたへ。

京都市上下水道局

水道事業・公共下水道事業の経営戦略と経営評価

上下水道局では、平成20年度から平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京（みやこ）の水ビジョン」（2008-2017）とその具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道局経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など7つの区分から水道事業、公共下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。3ページへ

取組項目評価

「中期経営プラン（2013-2017）」に掲げる5つの重点項目と重点項目を構成する取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。5ページへ

上下水道局経営戦略

京（みやこ）の水ビジョン (2008-2017)

基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。
私たち京都市上下水道局は、
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。
そして、ひと まち くらしを支える京の水をあずへつなぎます。



「京（みやこ）の水ビジョン」（2008-2017）は平成20年度からの10年間に取り組むべき課題や目標を示した経営戦略です。

ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、水道・下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とする5つの施策目標を掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

中期経営プラン (2013-2017)



「中期経営プラン（2013 - 2017）」は、ビジョンの後期5箇年の具体的な実施計画です。

プランは、5つの重点項目を中心に93の取組項目を推進する「事業推進計画」、業務の効率化を推進する「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」の3つの計画で構成されています。

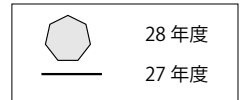
これらの計画に掲げた事業を計画的に推進するとともに、経営評価の実施による執行状況のチェックにより、継続的な業務改善や市民サービスの向上を進めています。

経営指標評価

財務指標を中心とした業務指標により、7つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。



27年度を100として改善度を示しています。



水道事業

1m³の水道水をつくるコストは146.1円です。大都市※平均と比べると、10.4円(6.6%)低コストです。

給水収益は増加したものの、物件費、減価償却費等の支出が増加したことにより指標値が低下しました。

①収益性

99.3

⑦費用

99.9

②資産・財務

98.1

当年度純利益の確保等により自己資本が増加した一方で、企業債残高の増加や一時的な流動負債の増加により、指標値が低下しました。

1m³当たりの水道水の平均価格は、166.3円です。大都市※平均と比べると、2.3円(1.4%)低価格です。

⑥料金

100.0

③老朽化

99.6

水道管路の老朽化が進む中、更新率をスピードアップしています。

職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

⑤生産性

102.9

④施設の効率性

98.9

配水量の減少等により、施設の効率性が低下しました。

公共下水道事業

1m³の下水を処理するのにかかるコストは、101.3円です。大都市※平均と比べると、27.9円(21.6%)低コストです。

下水道使用料収入が増加したことに加え、減価償却費や支払利息等の支出の削減に努めたことにより、指標値が向上しました。

①収益性

100.8

⑦費用

101.4

②資産・財務

100.0

企業債残高を縮減するなど、財務体質の強化に努めました。

1m³当たりの下水道使用にかかる平均価格は122.4円です。大都市※平均と比べると、20円(14%)低価格です。

⑥使用料

100.0

③老朽化

98.9

施設の老朽化が進む中、計画的に更新を進めていきます。

職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

⑤生産性

103.2

④施設の効率性

99.5

処理水量の減少等により、施設の稼働率が低下しました。

※ 大都市比較は、東京都及び平成28年度における政令指定都市（水道事業では県が主に事業を行う千葉市、相模原市を除く計19都市、下水道事業では計21都市）で比較しました。

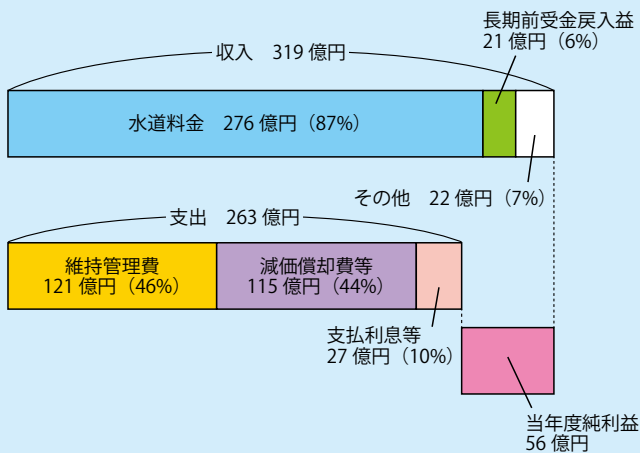
水道事業・公共下水道事業の決算概要（平成28年度）

水道事業

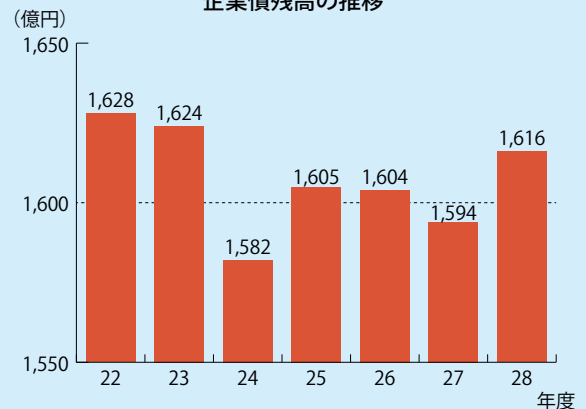
夏場の気温が前年度と比べて上昇したことや使用者数の増加による水需要の増加に伴い、水道料金収入が、前年度と比べ0.4パーセント（1億400万円）増加したことに加え、職員定数の削減や効率的な運営による費用の抑制に努めた結果、当年度純損益は55億7,400万円と、2年連続の黒字となりました。このうち現金収入を伴わない利益の増加分を除いた34億7,200万円を建設改良積立金として、議会の議決を経て、利益処分します。

なお、企業債の残高は、前年度と比べ1.4パーセント増加し、1,616億円となりました。

<損益計算書>



企業債残高の推移

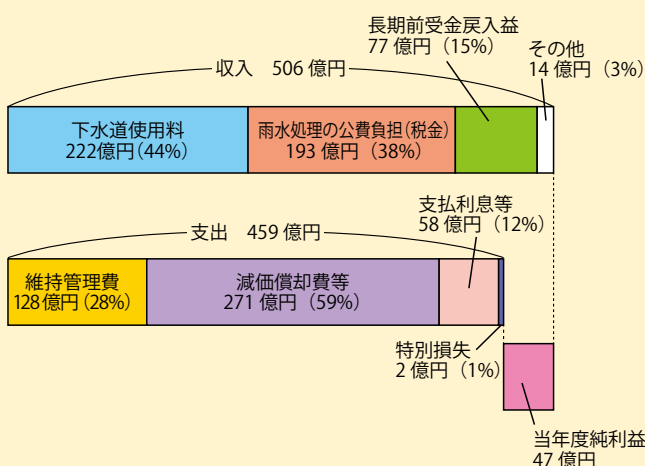


公共下水道事業

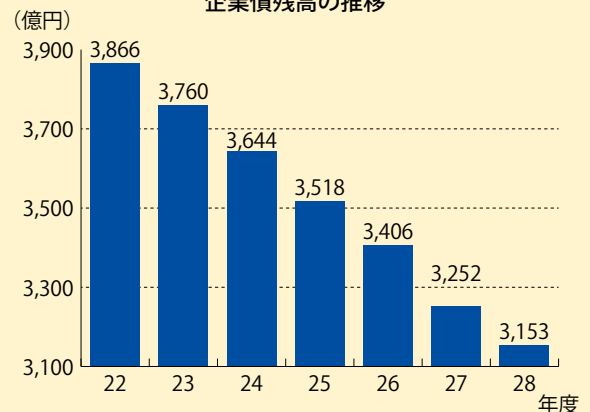
夏場の気温が前年度と比べて上昇したことや使用者数の増加による水需要の増加に伴い、下水道使用料収入が、前年度と比べ0.4パーセント（8,800万円）増加したことに加え、支出において、職員定数の削減や効率的な運営による費用の抑制に努めた結果、当年度純損益は46億8,900万円と、7年連続の黒字となりました。このうち現金収入を伴わない利益の増加分を除いた37億6,900万円を減債積立金として、議会の議決を経て、利益処分します。

なお、企業債の残高は、発行額を上回る償還を行ったため、前年度と比べ3.1パーセント減少し、3,153億円となりました。

<損益計算書>



企業債残高の推移



取組項目評価

取組項目評価では、各取組における単年度の目標に対する達成度を5段階で評価しました。ここでは、中期経営プランに掲げる重点項目に対する評価結果を御紹介します。道路の下で暮らしを支える管路施設の改築更新や雨に強く安心できる浸水対策の推進により、5つの重点項目のうち、4つがA評価、1つがB評価となりました。



評価方法は、

A

十分に達成されている

B

かなり達成されている

C

そこそこ達成されている

D

あまり達成されていない

E

達成されていない

の5段階評価

取組項目ごとの評価結果を点数化(a~eを5~1)し、重点項目別に集約した平均値が、
 4.6以上 → A評価
 3.6~4.5 → B評価
 2.6~3.5 → C評価
 1.6~2.5 → D評価
 1.5以下 → E評価

重点項目別の評価は、取組項目ごとの評価結果を集約したものです。

<取組項目ごとの評価基準>

- a** : 十分に達成されている (目標値の100%以上達成)
- b** : かなり達成されている (目標値の80%~99%)
- c** : そこそこ達成されている (目標値の50%~79%)
- d** : あまり達成されていない (目標値の30%~49%)
- e** : 達成されていない (目標値の29%以下)

<中期経営プランに対する進捗状況>



中期経営プランでの目標水準(平成29年度末)に対する平成28年度末の進捗状況を澄都(すみと)くんの表情としずくで示しています。

H25 H26 H27 H28 H29

目標以上に達成している。

H25 H26 H27 H28 H29

順調に進捗している。

H25 H26 H27 H28 H29

少し遅れている。

中期経営プラン(2013-2017)に掲げる5つの重点項目

- 重点項目① 改築更新の推進 6ページ
- 重点項目② 災害対策の強化 7ページ
- 重点項目③ 環境対策の充実 8ページ
- 重点項目④ お客さま満足度の向上 9ページ
- 重点項目⑤ 経営基盤の強化 10ページ

重点項目① 改築更新の推進

28年度の
単年度評価

A

配水管更新率等の数値目標を達成するとともに、京北地域水道*1の再整備及び中川・小野郷地域水道の整備についても計画どおりに完了することができたため、A評価となりました。

① 道路の下で暮らしを支える管路施設の改築更新

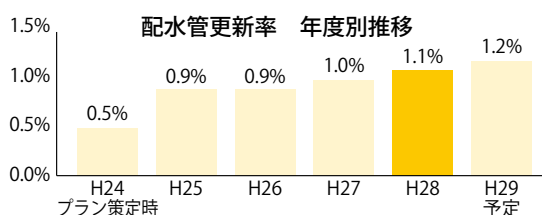
28年度の主な実績

●水道配水管の更新の推進

・配水管の更新率 1.1% (目標 1.1%)，配水管及び補助配水管*2の布設替工事の実施 **a**

●下水道管路施設の計画的な点検・改築更新

・下水道管路地震対策率 82.6% (目標 82.6%)，経年管老朽化対策工事の実施，管路地震対策工事の実施 など **b**



配水管更新率 (%)

$$= \frac{\text{更新された配水管延長}}{\text{配水管の総延長}} \times 100$$

プランでは平成 29 年度までに更新率を段階的に引き上げ 1.2% を目指すこととしています。

② 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

28年度の主な実績

●浄水施設等の改築更新

・蹴上浄水場第 1 高区配水池*3改良工事の実施 など **a**

●水環境保全センター及びポンプ場の改築更新

・鳥羽水環境保全センター汚泥濃縮・消化タンク築造工事の実施 など **a**

③ 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

28年度の主な実績

●下水処理における鳥羽・吉祥院処理区の統合

・吉祥院支所の処理機能の縮小に向けた技術的な検討を実施 など **a**

④ 京北地域水道及び中川・小野郷地域水道の再整備等

28年度の主な実績

●京北地域水道及び中川・小野郷地域水道の再整備等

・周山，熊田及び宇野地区の配水管布設工事の完了，熊田配水池・加圧ポンプ所等整備工事の完了，余野配水池・加圧ポンプ所等整備工事の完了 など **a**



京北地域水道再整備事業及び中川・小野郷地域水道整備事業が平成 28 年度に完了しました。平成 29 年 4 月からは，山間地域の上下水道事業を水道・公共下水道事業に統合し，より安定的に事業運営を行います。



再整備事業により完成した余野配水池(細野地域水道)

中期経営プラン
(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗している。

平成 27 年度の単年度評価は B 評価でしたが，進捗が遅れが生じた工事の進捗管理を徹底することにより，平成 28 年度は A 評価となりました。予定どおりプランの目標標準を達成する見込みであることから，プランに対しては「順調に進捗」しています。

* 1 京都市では，簡易水道（給水人口 101 人以上 5000 人以下）と飲料水供給施設（給水人口 50 人以上 100 人以下）を併せて「地域水道」と称している。（平成 29 年 4 月から水道事業に統合）

* 2 直接給水装置を取り付けるための配水管のうち，管網を形成せず行き止まりになっている口径 25～75mm の管のこと。

* 3 配水する区域の水の需要量に応じて，適切に水を配るため，浄水場から送られた水道水を一時的に貯めておく施設のこと。

重点項目② 災害対策の強化

28年度の
単年度評価

B

各整備工事の一部で遅れが生じましたが、下水道管路地震対策率等、数値目標はほぼ目標どおり達成することができたため、B評価となりました。

① 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

28年度の主な実績

●上下水道管路・施設の耐震化の促進

- ・水道管路の耐震化率 13.6% (目標 14.1%)、配水管及び補助配水管耐震化工事の実施、蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
- ・吉田・御池・花園連絡幹線配水管*1 布設工事の実施 **c**
※御池連絡幹線配水管布設工事において、地下水水位が想定よりも高く、地盤改良が必要となったため、工事の着手が遅れた。
- ・下水道管路地震対策率 82.6% (目標 82.6%)、経年管老朽化対策工事の実施、管路地震対策工事の実施【再掲】 など **b**
- ・下水道施設継手部地震対策工事の実施、災害用マンホールトイレ*2 設置のための管路地震対策工事の実施 など **b**



災害用マンホールトイレ (イメージ)

●導水施設*3 の耐震化による安定した取水の確保

- ・新山科浄水場導水トンネル築造実施設計の実施 **c**
※平成29年度の国庫補助対象事業 (生活基盤施設耐震化等交付金の緊急改善事業) となることから、平成29年度事業とした。

② 雨に強く安心できる浸水対策の推進

28年度の主な実績

●地下街等を有する地区等の浸水対策

- ・雨水整備率 (10年確率降雨対応) 23.6% (目標 23.6%)、塩小路幹線整備工事の完了、山科三条雨水幹線、花見小路幹線の各整備工事の実施 **b**
- ・河川整備等と連携した新川6号幹線整備工事の実施 **b**
- ・伏見第3導水きょ、山科川13-1号雨水幹線の各整備工事の実施 など **a**
- ・雨水貯留施設設置助成金制度 助成基数 143基 (目標 120基)、雨水浸透ます設置助成金制度 助成基数 274基 (目標 240基) など **a**



雨水貯留施設

住宅の屋根等に降った雨水を雨どいから集水し、タンク等に貯留する施設。雨水を「ためる」役割を果たし、雨水の流出抑制のほか、草花の水やりや打ち水等にも有効活用できる。

雨水浸透ます

住宅の屋根等に降った雨水を雨どいから集水し、地中に浸透させる施設。雨水を地中に「しみこませる」役割を果たし、雨水の流出抑制のほか、地下水の保全にも寄与する。

③ 災害・事故等危機時における迅速な対応

28年度の主な実績

●危機管理対策の強化

- ・日本水道協会京都府支部において合同応急給水訓練を実施、「京都市上下水道局業務継続計画 (震災対策編)」の改善を実施 など **a**

●防災拠点の充実

- ・太秦庁舎に係る設備工事等を実施、京都市総合防災訓練及び京都刑務所での防災訓練において応急給水訓練を実施 など **b**



応急給水訓練の様子

中期経営プラン
(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗している。

単年度評価は、平成25年度以降4年連続でB評価となりました。進捗が遅れが生じた一部の工事についても、進捗管理を徹底することによりプランの目標水準を達成する見込みであることから、プランに対しては「順調に進捗」しています。

*1 異なる給水区域の配水幹線をつなぐ水道管のことで、水道水の給水を融通し合うことができる。

*2 多くの人が避難する避難所や広域避難場所に、下水道に直結した複数のマンホールを設置しておくことで、災害発生時にマンホール蓋を開けてトイレとして使用できるように整備された施設のこと。

*3 水道水のもととなる原水を、浄水場まで運ぶトンネルや管のこと。京都市には、琵琶湖疏水から各浄水場、宇治川から新山科浄水場を結ぶ導水トンネルや導水管がある。

重点項目③ 環境対策の充実

28年度の
単年度評価

A

下水の高度処理*₁人口普及率や合流式下水道*₂改善率について数値目標を達成するとともに、温室効果ガスの排出削減等についても概ね計画どおり実施できたため、A評価となりました。

① 市内河川と下流域の水環境を守る下水の高度処理の推進

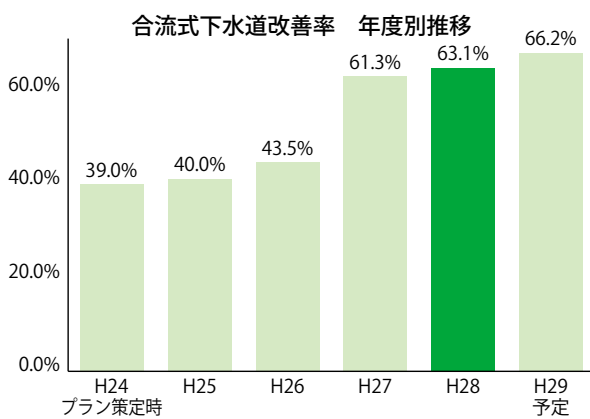
28年度の主な実績

●下水の高度処理施設の段階的な整備

- ・高度処理人口普及率53.2% (目標53.2%), 伏見水環境保全センター分流系反応タンク設備の整備工事の完了 など **a**

●合流式下水道の改善

- ・合流式下水道改善率 63.1% (目標 63.1%), 朱雀北幹線整備工事の完了, 津知橋幹線整備工事の実施 など **b**
- ・雨天時放流水質検査の実施, 伏見水環境保全センター合流改善施設の整備工事の実施 など **a**



合流式下水道改善率 (%)

$$= \frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}} \times 100$$

プランでは平成 29 年度までに合流式下水道改善率を 66.2%にすることを目標としています。

② 環境保全の取組の推進

28年度の主な実績

●再生可能エネルギーの利用拡大等による温室効果ガスの削減

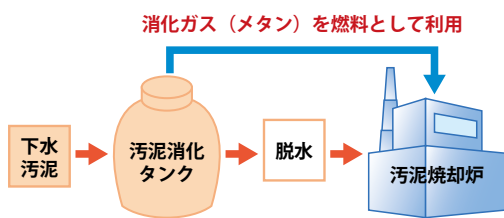
- ・太秦庁舎の太陽光発電設備工事の実施 など **a**

●資源循環の推進

- ・鳥羽水環境保全センター汚泥濃縮・消化タンク築造工事の実施, 消化ガス*₃の汚泥焼却炉の燃料等への活用と脱水汚泥等のセメント原料化を推進 **a**



鳥羽水環境保全センター
汚泥消化タンクの再整備



《資源循環の推進 (下水汚泥の有効活用) について》

鳥羽水環境保全センターでは、下水の処理過程で生じる汚泥から消化ガスを発生させるための汚泥消化タンク等を再整備しています。消化ガスは、従来から焼却炉の燃料として活用しており、今回の再整備によって発生量を倍増させることにより、焼却炉で使用する燃料を大幅に削減することが可能となります。

中期経営プラン
(25～29年度)
に対する進捗状況



各整備工事については概ね計画どおり進捗し、数値目標についても着実に目標を達成しています。単年度評価は、平成 25 年度以降 4 年連続で A 評価で推移していることから、プランに対しては「目標以上に達成」しています。

* 1 従来の処理方式と比べて、さらに良好な水質が得られる処理のこと。有機物をより多く除去したり、従来の処理方式では除去できない物質（窒素、りん等）を除去すること等が出来る。

* 2 汚水と雨水を同一の管きよで集め、処理する下水道の方式。これに対し、汚水と雨水を別々の管きよで集める方式を「分流式下水道」という。合流式下水道では、雨天時に汚水の混じった雨水が雨水吐口から河川等へ放流されるため、改善対策を行っている。

* 3 微生物の働きにより、汚泥中の有機物を分解する処理（消化）の副産物として発生するメタンを主成分としたガスのこと。

重点項目④ お客さま満足度の向上

28年度の
単年度評価

A

営業所の抜本的再編を計画どおり実施するとともに、お客さま満足度向上に向けた各種施策や広報・広聴活動を積極的に推進したことにより、A評価となりました。

① お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

28年度の主な実績

●今日の社会状況の変化に対応した料金制度・料金支払方法への見直し

- ・地下水等利用専用水道設置者の水道施設維持経費の負担の適正化を図るため、「水道施設維持負担金制度」を創設など **a**
- ・口座振替利用者を対象とした割引制度及びクレジットカード継続払い制度の周知（市民イベントにおいて制度のPR、市民しんぶんへの記事の掲載等） **a**
- ・開栓時の「水道便利袋」*1封入物の拡充（配布件数 34,166件）など **a**

口座振替割引制度でお得に！

上下水道料金を口座振替でお支払いいただくお客さまには、口座振替割引が適用されています。2箇月で88円を割引いたします。



- ・割引額は、水道メーター検針の際にお渡しする「水道使用量のお知らせ」で御案内しています。
- ・初回請求時に口座から引き落としができた場合に限りです。

クレジットカード継続払いで便利に！

上下水道料金のお支払いには、クレジットカード継続払い（あらかじめ御登録いただいたクレジットカードに請求するお支払い方法）を御利用いただけます。

- ・お申し込みが必要です。
- ・クレジットカード継続払いを御利用の場合、口座振替割引制度は適用されません。

御利用可能ブランド
VISA, Master, JCB,
DinersClub,
AmericanExpress

② お客さまが利用しやすい仕組みづくり

28年度の主な実績

●お客さまの利便性の向上

- ・給水申込書等の英語版記入例の作成（外国人のお客さまに向けた受付方法の充実） **a**

●お客さまが利用しやすい窓口づくり

- ・各区役所・支所の日曜開所日に上下水道局の臨時相談窓口を設置、太秦庁舎内の店舗出店事業者の募集・決定 など **a**

③ 積極的に行動するサービスの充実

28年度の主な実績

- 上下水道局営業所の抜本的再編 東部営業所開所（4月）、西部営業所開設に関する周知チラシの図案作成 など **a**
- 出前トークや環境教育の充実 子ども向け水道水PRプログラム「わくわく すいどうひろば」（紙芝居、歌遊び）を実施 など **a**
- お客さま訪問サービスの実施 水道メーター点検訪問時の広報用リーフレットの配布 など **a**

④ 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

28年度の主な実績

●積極的な情報発信と分かりやすい情報開示等による広報機能の充実

- ・「おいしい！大好き！京（みやこ）の水キャンペーン」の実施、ミスト装置*2普及促進事業の実施 など **a**

●お客さまの声を反映するための広聴機能の充実

- ・上下水道モニター施設見学会・意見交換会の実施、「平成27年度水に関する意識調査」の報告書の作成・公表など **a**

「おいしい！大好き！京（みやこ）の水キャンペーン」（「京（みやこ）の水・利き水大作戦」の様子）



中期経営プラン
(25～29年度)
に対する進捗状況



目標以上に達成している。

お客さま満足度向上に向けた各種施策や広報・広聴活動を積極的に推進し、営業所の抜本的再編についても計画どおり実施するなど、単年度評価は、平成25年度以降4年連続でA評価で推移していることから、プランに対しては「目標以上に達成」しています。

*1 口座振替依頼書、クレジットカード継続払申込書、水道メモ（上下水道に関する手続きや料金等について掲載したパンフレット）、京都市上下水道局からのお知らせ（お支払方法の変更案内や悪質業者への注意喚起に関するチラシ）、京の水宣言（京都の水を「おいしい」「大好き」と宣言するためのチラシ）、及びマグネット（管轄の営業所等の連絡先を記載したもの）を封入したもの。

*2 水道水を特殊なノズルで微細な霧にして噴出し、水を効果的に気化させ、その気化熱が周囲の熱を奪う現象を利用し、周辺気温を下げる装置のこと。

重点項目⑤ 経営基盤の強化

28年度の
単年度評価

A

職員定数の削減や保有資産の有効活用のほか、知識・技術の継承・発展に係る取組についても積極的に推進することで、A評価となりました。

① 経営環境の変化に対応した経営の効率化

28年度の主な実績

- **事業の効率化の推進** 組織改正の実施、職員定数の削減（△22人） a
- **地域事業（山間地域の上下水道事業）の水道・公共下水道事業への統合**
 - ・統合に係る関連条例等の改正、水道事業の認可変更申請書類の提出（厚生労働省） など a

② 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

28年度の主な実績

- **企業債残高の削減** 自己資金の活用による企業債の発行抑制 など a
- **未納金徴収体制の強化**
 - ・営業所の特別滞納整理班とお客さまサービス推進室が連携し、未収金削減に向けた取組を実施 a
- **保有資産の有効活用**
 - ・保有地の売却、多角的な広告事業、「琵琶湖疏水通航復活」試行事業の実施及び本格実施に向けた検討 など a
- **上下水道サービスを持続していくための効率的な再投資**
 - ・健全かつ安定的な事業運営を行えるよう、「水道及び下水道施設等マネジメント基本計画」を策定・公表 など b



琵琶湖疏水通航復活応援寄附金リーフレット

《「琵琶湖疏水通航復活」事業の取組について》

琵琶湖疏水（大津～蹴上間）における通航を復活させ、平成30年度から本格的に事業化することを目指し、これまで5回の試行事業を実施し、ガイド育成や往復運航などステップアップを繰り返してきました。平成29年度は、本格事業で用いるための新たな観光船2隻の建造等を実施し、琵琶湖疏水の更なる魅力向上を図ります。

このため、国の交付金の活用や企業等から協賛金を募るほか、日本全国から広く御支援をいただくことを目的に、平成29年4月からふるさと納税制度を活用した「琵琶湖疏水通航復活応援寄附金」を募集しています。

③ 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

28年度の主な実績

- **人材活性化に向けた取組の強化** 人材育成基本方針「企業力向上プラン」に掲げる28年度の項目の実践 など a
- **職員の意欲・やる気を引き出す取組の充実**
 - ・職員提案件数146件（目標100件）、自主研修の支援（資料の閲覧） など a
- **職員の能力発揮のための職場環境の整備**
 - ・特定事業主行動計画「仕事とくらし きらめき スマイルプラン」に掲げる行動項目の実施 など a
- **国際協力事業の推進と国際貢献を支える人材の育成**
 - ・海外研修員の受入れ（水道・下水道施設で延べ24箇国179名） など a
- **知識・経験や技術・技能の継承**
 - ・水道技術研修施設の整備工事の実施、各職場におけるナレッジマネジメント*1の運用及びフォローアップ調査の実施 など a

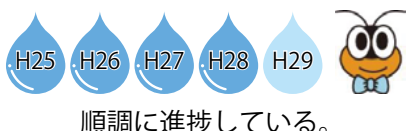


JICA課題別研修
「都市浄水場維持管理」



JICA国別研修「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」

中期経営プラン
(25～29年度)
に対する進捗状況



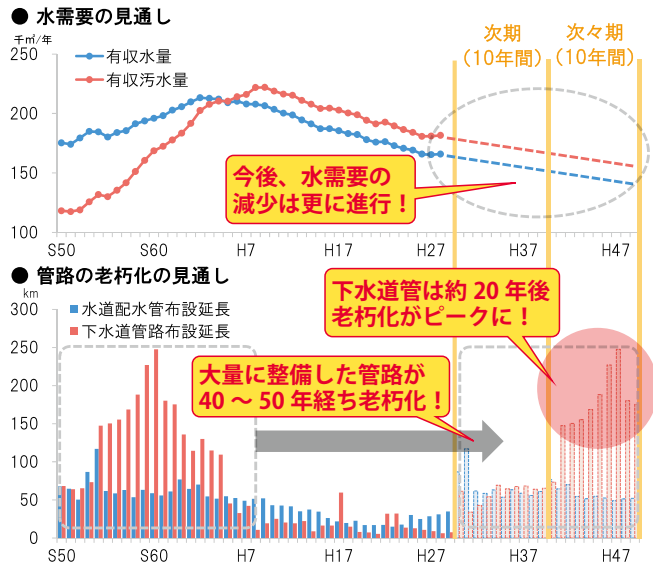
「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」に基づく各種取組を着実に推進することで、単年度評価は、平成25年度以降4年連続でA評価で推移しており、プランに対しては「順調に進捗」しています。

*1 個人の知識・技術（ナレッジ）を職場で共有し、ノウハウとして蓄積していく手法のこと。

上下水道局の次期経営ビジョンを策定中！

節水型社会の定着や人口減少により水需要が減少する（収入が減少する）とともに、管路や施設の老朽化が更に進む（必要となる事業費が増大する）など、今後、本市の水道事業及び公共下水道事業を取り巻く経営環境は、更に厳しさを増す見通しとなっています。

上下水道局では、このような状況にあっても、市民の皆さまの生活を支える重要なライフラインである水道・下水道を50年後、100年後の未来にしっかりとつなぎ、安全・安心を守り続けるため、平成30年度以降の基本理念や取組をまとめた次期経営ビジョンを平成30年3月に、策定・公表します。



災害時に備えて備蓄飲料水の確保を！

災害時には、**1人1日最低3リットル**の飲料水が必要だと言われています。ご家庭でも**家族の人数の3日分**を目安に飲料水を確保しましょう。

(例) 4人家族なら、少なくとも… 3ℓ×4人×3日間=36ℓ (疎水物語約3ケース)



水道水を使った飲料水の保存方法

- 水道水は十分に洗った清潔なフタのできる容器（ペットボトルやポリタンクなど）に保存しましょう。
- 容器内部に空気が残らないように水道水を口元いっぱいまで入れて、しっかりとふたをしましょう。
- 浄水器を通した水は、塩素による消毒効果がなくなっている可能性がありますので、じゃ口から直接注ぎましょう。
- 直射日光の当たらないすずしい場所に保管すると、約3日間保存できます。
- 保存期間が過ぎたらお花の水やりや打ち水などに使用しましょう。



「京の水道 疎水物語」で災害に備えよう！

災害用備蓄飲料水「京の水道 疎水物語」は、ご家庭での飲料水備蓄に役立てていただけるよう、京都市が誇るおいしい水道水を、ろ過・加熱処理し、アルミボトルに詰めたものです。

- ・製造後、常温・未開封で5年間保存が可能です。直射日光のあたる場所を避け、室内冷暗所での保管をお願いします。
- ・「疎水物語」1ケースで4人家族が災害発生時に必要といわれている飲料水の1日分に相当します。(490ml/本×24本)
- ・ケース24本入2,400円(税込) / 1本当たり100円(税込)
- ・最寄りの上下水道局の各営業所、本庁舎お客さま窓口サービスコーナーにてケース単位で販売。また、市役所本庁舎、上下水道局本庁舎前、琵琶湖疎水記念館、地下鉄烏丸御池駅構内に設置の自動販売機にて1本単位で販売。



次の製造分(平成30年3月頃)から賞味期限を10年に延長し、より皆さまに親しんでいただき、手に取ってもらいやすくするために、新名称(「京のかがやき 疎水物語」)及び新デザインに変更するよ！

●より詳しい経営評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

京都市水道事業・公共下水道事業経営評価

検索

平成29年度 京都市水道事業・公共下水道事業経営評価(平成28年度事業)

平成29年9月発行

京都市上下水道局総務部経営企画課 〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地 TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711

